

令和 2 年 度
第 3 0 期

事 業 報 告 書

〔 令和 2 年 4 月 1 日から
令和 3 年 3 月 3 1 日まで 〕

株式会社 銚子マリーナ

事業報告書

〔 令和 2年4月 1日から 〕
〔 令和 3年3月31日まで 〕

I. 営業の概況

1. マリーナ関連施設の整備状況、営業の経過並びに成果及び今後の課題

(1) マリーナ関連施設の整備状況

平成25年4月から、センターハウス・ディンギーハウス・整備工場等の主要施設が稼働しました。マリーナ施設の根幹である浮棧橋についても電気・水道の利用が可能となり契約者・利用者が利用できる環境が整いました。今後は、マリーナ施設の長寿命化を見据えた施設補修の方向性を関係機関と協議してまいります。

(2) 営業の経過及び成果状況

当期においては新型コロナウイルス感染防止措置としてイベント等の中止によりビクター利用及び燃料売上の減少がありましたが、契約艇数が昨年より大幅な増加となり売上高の増加につながりました。

ア. 保管状況

契約艇の推移

(単位：艇)

区 分	令和2年3月末日 (令和元年度)			令和3年3月末日 (令和2年度)			増 減
	海上保管	陸上保管	合 計	海上保管	陸上保管	合 計	
クルーザーヨット	45	10	55	51	13	64	9
モーターボート	37	13	50	37	19	56	6
小 計	82	23	105	88	32	120	15
ディンギーヨット		8	8		8	8	
水上オートバイ					1	1	1
合 計	82	31	113	88	41	129	(16)

イ. 利用料収入及び売上状況

(単位：千円)

商品名	令和元年度		令和2年度					
	実績	構成比	計画	実績	構成比	達成率	前年比	
売上高	利 用 料	53,693	53.7%	50,301	52,223	55.6%	103.8%	97.3%
	そ の 他 利 用 料	3,206	3.2%	2,862	2,676	2.8%	93.5%	83.5%
	燃 料 売 上	12,261	12.3%	10,400	9,747	10.4%	93.7%	79.5%
	修 理 売 上	9,045	9.0%	9,050	9,950	10.6%	109.9%	110.0%
	部 品 ・ 用 品 売 上	21,788	21.8%	13,150	19,368	20.6%	147.3%	88.9%
	合 計	99,993	100%	85,763	93,964	100%	109.6%	94.0%

ウ. 営業成績及び財産の状況の推移

(単位：千円)

区 分	第27期 (平成29年4月 ～平成30年3月)	第28期 (平成30年4月 ～平成31年3月)	第29期 (平成31年4月 ～令和2年3月)	第30期 (令和2年4月 ～令和3年3月)
総売上高	93,440	113,016	99,993	93,964
経常利益	3,645	9,173	9,007	8,247
特別損益				1,291
税引前純利益	3,645	9,173	9,007	9,538
当期純利益	2,024	6,471	6,139	6,803
1株当たりの 当期純利益	506円10銭	1,617円86銭	1,534円80銭	1,700円82銭
総資産	125,389	136,563	144,645	158,597
純資産	92,927	99,398	105,537	112,340

エ. 主な事業活動

本年度におきましては新型コロナウイルス感染防止対策の為各種イベントは全て中止とさせていただきます。

(3) 今後会社に対処すべき課題

経営の安定化とマリナーを核とした地域活性化を目指し、関係行政機関や関係事業者と連携を密にして、次の事項について積極的に事業の展開を図ってまいります。

1. 保管契約艇数の更なる増加を目指す集艇活動の展開と契約者のみならずビジター利用者に対するサービスの向上
2. 絶景のロケーション等を広く一般の方々にも認知していただけるようなレクリエーション基地としての営業活動
3. マリナー施設の長寿命化を見据えた維持管理及び修繕方針に関する千葉県及び銚子市との合意形成

Ⅱ. 会社の状況

1. 主要な事業内容

- (1) マリンレジャー施設の整備、管理及び運営業務
- (2) 舟艇の保管業務及び保守点検業務
- (3) 舟艇及びマリンレジャー機器類の販売及び賃貸業務
- (4) ガソリン、軽油等の舟艇用燃料の販売業務
- (5) マリンレジャー用品、アクセサリー、日用品雑貨、食料品等の販売業務及びこれらの販売店の経営
- (6) 不動産の賃貸及び管理業務
- (7) マリンレジャー関連業務の受託業務
- (8) 損害保険代理業務
- (9) 犬、小動物等の遊園施設の運営業務及びペット用品の販売業務
- (10) 前各号に付帯する一切の事業

2. 株式の状況

(1) 発行株式数及び株主数

発行する株式の総数	4,000株
発行済み株式総数	4,000株
株主数	8名

(2) 大株主

株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	所有株式数	議決権比率	所有株式数	議決権比率
銚子市	2,200株	55.00%	0株	0%
ヤマハ発動機(株)	1,000株	25.00%	0株	0%
ヤンマー船用システム(株)	200株	5.00%	0株	0%
千葉銀行	192株	4.80%	0株	0%
学校法人 加計学園	158株	3.95%	0株	0%
銚子市漁業協同組合	150株	3.75%	0株	0%
三菱商事(株)	50株	1.25%	0株	0%
(一社)銚子市観光協会	50株	1.25%	0株	0%

3. 従業員の状況
在籍従業員数5名

4. 取締役及び監査役

令和3年3月31日現在

会社における地位及び担当又は主な職業		
代表取締役会長	越川 信一	銚子市長
代表取締役社長	島田 重信	銚子市副市長
取締役	安井 尚人	ヤマハ発動機(株) マリン事業統括部 第2マーケティング部 部長
取締役	土屋 良二	ヤンマー船用システム(株) 東日本営業部 営業部長
取締役	細貝 隆之	(株)千葉銀行 常務執行役員
監査役	坂本 雅信	銚子市漁業協同組合 代表理事組合長
監査役	宮内 昭三	元銚子市議会議員

(注) 当期中の取締役の異動

無し

令和2年度
第30期計算書類

〔 令和 2年4月 1日から
令和 3年3月31日まで 〕

貸借対照表
損益計算書
株主資本等変動計算書
個別注記表

株式会社 銚子マリーナ

貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
I. 流動資産	136,759,690	I. 流動負債	46,256,576
現金	829,359	買掛金	3,329,718
銀行預金	115,198,719	未払金	7,384,936
売掛金	10,235,786	前受金	24,975,996
商品	7,573,970	預り金	6,711,426
前渡金	78,573	納税充当金	1,290,400
前払費用	2,581,555	未払消費税等	2,564,100
未収入金	248,378		
立替金	13,350		
II. 固定資産	21,837,454	負債の部合計	46,256,576
有形固定資産計	20,025,030	純 資 産 の 部	
建物	18,280,747	I. 資本金	200,000,000
機械装置	2,835,961	資本金	200,000,000
建物付属設備	12,569,680	II. 利益剰余金	-87,659,432
船舶	12,794,246	繰越利益剰余金	-87,659,432
車輛運搬具	5,423,010	(1)前期繰越利益	-94,462,715
リース資産	13,545,000	(2)当期純利益	6,803,283
備品	9,349,051		
減価償却累計額	-54,772,665		
無形固定資産計	1,662,424	純資産の部合計	112,340,568
電話加入権	590,824		
リース資産(無形)	1,071,600		
投資その他の資産	150,000		
保証金	150,000		
資産の部合計	158,597,144	負債・純資産の部合計	158,597,144

損益計算書

令和 2年4月 1日から
令和 3年3月31日まで

(単位：円)

1. 経常損益の部		
(1) 営業損益の部		
売上高		93,963,701
売上原価		29,428,482
(売上総利益)		<u>64,535,219</u>
販売促進費及び一般管理費		60,603,514
(営業損益)		<u>3,931,705</u>
(2) 営業外損益の部		
営業外収益		
収入利子	1,111	
業務委託料	3,215,456	
雑収入	1,099,268	4,315,835
固定資産売却益	1,291,312	<u>1,291,312</u>
		<u>5,607,147</u>
(経常利益)		<u>9,538,852</u>
2. 税引き前当期利益		<u>9,538,852</u>
3. 法人税、住民税及び事業税		<u>2,735,569</u>
4. 当期純利益		<u><u>6,803,283</u></u>

個 別 注 記 表

自 令和 2年4月 1日
至 令和 3年3月31日

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. たな卸資産の評価基準及び評価法

最終仕入れ原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却方法

有形固定資産
定額法を採用しております。

3. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜き方式を採用しております。

II 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式総数 4, 000株

III 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、 28, 085円14銭であります。
2. 一株当たり当期純利益は、 1, 700円82銭であります。

令和2年度
第30期附属明細書

〔令和 2年4月 1日から
令和 3年3月31日まで〕

株式会社 銚子マリーナ

1. 資本金の増減

(単位：円)

区 分	期 首 残 高	当期増加額	当期減少額	期 末 残 高
(発行済株式)	(4,000株)	(0株)	(0株)	(4,000株)
資 本 金	200,000,000			200,000,000

2-1. 販売促進費及び一般管理費明細

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額
交際費	21,136	給与	18,778,088	消耗工具備品費	1,440,221
広告宣伝費	754,730	賞与	4,691,400	業務委託費	982,362
諸会費	292,250	雑給	3,623,000	図書研修費	0
サービス料	111,160	法定福利費	3,841,713	減価償却費	5,310,396
運送費	40,830	厚生費	753,214	修繕費	2,413,500
		出向業務負担金		【一般管理費計】	27,695,993
		【人件費計】	31,687,415		
【販売促進費計】	1,220,106	旅費交通費	717,739		
		水道光熱費	3,218,472		
		事務用消耗品費	91,344		
		リースレンタル料	451,295		
		通信費	675,864		
		保険料	2,202,120		
		雑費	713,886		
		維持管理費	9,263,266		
		租税課金	215,528	経費合計	60,603,514

2-2. 期首期末商品明細

(単位：円)

科 目	期 首 金 額	仕 入 金 額	売 上 原 価	期 末 金 額
燃 料	1,401,414	6,979,624	7,237,871	1,143,167
部 品	5,016,556	16,526,602	15,134,005	6,409,153
修 理	995,323	6,082,933	7,056,606	21,650
合 計	7,413,293	29,589,159	29,428,482	7,573,970

3-1. 営業外収益

(単位：円)

科 目	金 額	摘 要
受 取 利 息	1, 1 1 1	預金利息
雑 収 入	1, 0 9 9, 2 6 8	自販機売上手数料、シースタイル助成金等
業 務 委 託 料	3, 2 1 5, 4 5 6	名洗公園指定管理料
合 計	4, 3 1 5, 8 3 5	

3-2. 特別利益

(単位：円)

科 目	金 額	摘 要
固定資産売却益	1, 291, 312	シー스타イル艇売却益
合 計	1, 291, 312	

4. その他

(単位：円)

科 目	金 額	摘 要
法人税、住民税及び事業税	2,735,569	
合 計	2,735,569	

監査役の監査報告書の謄本

監 査 報 告 書

私達は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの第30期営業年度の貸借対照表、損益計算書、事業報告書、株主資本等変動計算書及び附属明細書を監査しました結果、適法かつ適正であることを認めます。

令和3年5月17日

株式会社 銚子マリーナ

監査役 坂 本 雅 信

監査役 宮 内 昭 三